

この新聞では、地域の情報、季節の話題、そして弊社の取り組みなどを紹介していきます。

## 「第45回新春機材展」を見学してきました



業態変革を進めるためのヒントが隠された機材展でした。  
今後も印刷業界には目が離せません！  
見どころ満載の展示会でした。



平成21年1月31日 愛知県名古屋市中企業振興会館にて

## 春の足音

代表取締役社長 杉森由幸

地域の皆様をはじめ、今この広報誌をご覧頂いている多くの方々のお陰で、弊社も42年もの歴史を持つ会社になることが出来ました。ここに感謝の想いを込めてお礼申し上げます。

さて、昨今は世界的規模で経済不況の波に飲み込まれている状況が続いております。それに加えて印刷業界ではペーパーレスへの移行や、パソコンの普及などもあり弊社も難しい舵取りを強いられているのが現状です。ただ、OA機器の普及による受注減というマイナス面ばかりではなく、プラス面があることも事実です。それはお客様のパソコンが印刷の入口になるという、印刷の新しいスタイル＝DTP(デスクトップパブリッシング)の発展です。今では印刷物ばかりではなく、多

くのメディアがプラットフォームを共有するようになっております。まさに今の時代、舵取り次第で「春」はすぐそこにあるのではないのでしょうか。

この春、弊社は新しくB2サイズの8色機(両面同時カラー印刷機)を導入します。今まで以上に作業効率の向上と品質を安定させることにより、この厳しい中でもお客様のニーズにお応えできるように体制を整えてまいります。

また、「PR誌」を作りたいと社員から提案があり、発行することとなりました。紙面上で元氣な話題や弊社の日頃の取り組みを紹介することで、地域の経済活動が活発に営まれることを願うとともに、今まで以上に弊社を身近な存在に感じて頂ければ幸いです。

今後とも、杉森印刷株式会社をご愛顧頂きますよう、よろしくお願い申し上げます。



## はままつ 歴史散歩 岩水寺(浜北区)

岩水寺は今から約1300年前の神亀2年(西暦725年)聖武天皇の勅命を受け東国巡錫に赴いた行基菩薩が、自ら薬師如来の尊像を刻み開山したといわれています。その後延暦年間(約1200年前)征夷大將軍坂上田村麻呂公が東征時に岩水寺を宿とし寺領二百余町歩寄付され、龍宮山の山号をお付けになりました。その後一子坂上田村麻呂俊光公が人々の幸せを願い、お母様(玉袖姫)が微笑むお優しいお顔をされた弘法大師作のお地藏様(お比丘尼如来像)を岩水寺に安置されました。その御誓願は広く厄除、安産、子宝、子育てであります。また征夷大將軍坂上田村麻呂公の奥方(家内)であるが故に昔から家の内々より良くして下さる、お守りして下さる家内安全、商売繁盛のお地藏様とも言われており、年間数十万人の参拝者が訪れます。



2月15日には盛大に星祭が開催されました。

## ECOLOGY

環境(エコ)新聞

### 「エコ通信おしえて ECOもりくん!」 を発行しました

エコアクション21事務局

待望の第1号!年2回発行します。

このほど、環境(エコ)新聞「エコ通信 おしえて ECOもりくん!」の第1号を発行しました。エコアクション21事務局を中心に、社員の環境への取り組みなどを掲載しています。定期的な環境(エコ)新聞を作ることによって弊社の環境分野の情報発信を強化し、従業員への意識向上を促すことを目的としています。

A4判 両面フルカラーで作成をし、全従業員に配布しました。今後は、6月号と12月号を年2回のペースで発行します。



\*リレーエッセイ

### ホームページが新しくなりました!!

<http://sugimoriprint.co.jp>

はじめまして、営業課の安達です。栄えある第一回目を担当させていただくことになりました。

さて、昨年12月26日にホームページをリニューアル致しました。仕事の合間に少しずつ作ったもので、至らぬ点が多々あるかと思えます。これからも改良を重ね、このホームページがお客様とのコミュニケーションの場になればと思っております。

是非一度弊社ホームページにアクセスしてください。今後ともよろしくお願い致します。

今回は制作・製版課荒木です。



## 印刷 知識

### 紙のサイズの由来について

みなさんが普段よく目にする紙のサイズには、A4(A判)、B5(B判)などがあると思います。A判、B判の標準寸法が決められたのは昭和4年(西暦1929年)で、日本標準規格(JIS)で紙の仕上寸法が決められました。それ以前は日本古来の四六判や菊判が用いられており、書籍や雑誌などの仕上寸法自体が統一されていませんでした。規格統一にあたり国際規格のドイツのA列を取り入れ、さらに日本独自の寸法B列を作ったのです。これがA判、B判の始まりだそうです。

## 編集後記

「Si」の第1号をご覧頂きありがとうございます。これからも定期的に、印刷屋として「紙媒体」へのこだわり、そして可能性を持って、この広報誌「Si」をお届けしてまいります。私たちとお客様のコミュニケーションメディアとして定着するよう、ご意見ご感想もどんどんお聞かせください。そして、「ご注文」もお待ちしております。では、次号は6月発行です。